

平成 29 年 8 月 14 日

報道機関各社様

腸管出血性大腸菌 O157 による患者発生について(第 6 報)

医療法人発寒中央病院(西区発寒 5 条 6 丁目 10-1)において発生しております腸管出血性大腸菌(O157)感染症の届出があった集団感染事案について、市の調査及び当医療機関による再発防止策等を進めているところです。

現在、有症者の増加は見られていないところですが、本日、入院患者 1 人(80 歳代男性)が O157 による基礎疾患の悪化により死亡いたしましたので、お知らせします。

1 死因

O157 による基礎疾患(腎臓)の悪化

※O157 による下痢等の症状は回復していたが、基礎疾患への影響があったもの

2 対応状況等

(1) O157 に伴う他の有症者 13 人の症状は、回復している。

また、施設の消毒の徹底を図るとともに、デイケア・外来の中止を継続中。

(2) 札幌市保健所では、次のとおり、調査及び指導を実施している。

- ・発生原因及び院内における感染のまん延に至った要因等について調査した結果、排せつ物の取扱いに不十分な箇所が見られた。
- ・マニュアル修正案等の提出を受け、その内容について指導を開始。
- ・全職員の約 9 割の検査結果が判明し、いずれも O157 陰性であることを確認。また、O157 が陽性であった患者について、一部の陰転化を確認。

【状況】

(単位：人、数字は累計)

発表日	7/29(土)	7/30(日)	8/1(火)	8/2(水)	8/4(金)	8/14(月)
有症者	10	11	14	16	16	16
O157 届出数	2	6	7	10	10	10
死亡者	1 ^{※1}	2 ^{※2}	2	2	2	3 ^{※2}
症状のない方の O157 届出数 ^{※3}					2 ^{※3}	2
O157 届出総数	2	6	7	10	12	12

※1 基礎疾患による死亡

※2 O157 による基礎疾患悪化

※3 無症状病原体保有者(下痢等の症状は現れていないが、検査の結果、便から O157 が検出された。)

<問い合わせ先>

札幌市保健所

感染症総合対策課 柴田

電話 622-5199